

北アルプス 榎海新道 山行報告

行程：2021年7月21日～24日 北又小屋～朝日岳～吹上コル～榎海山荘～白鳥小屋～親不知

7/21 20:20 木津発 ⇒00:50 親不知駐車場

7/22 04:50 親不知(タクシー) ⇒05:50 北又小屋 ⇒10:13 イブリ山 ⇒13:10 朝日小屋泊

7/23 04:55 朝日小屋 ⇒05:57 朝日岳 ⇒06:38 吹上コル ⇒09:23～10:00 黒岩平

⇒10:40 黒岩山 ⇒12:06 サワガニ山 ⇒14:14 犬ヶ岳 ⇒14:27 榎海山荘

7/24 04:48 榎海山荘 ⇒06:25 菊石山 ⇒08:20 白鳥山 ⇒10:55 坂田峠 ⇒14:07 親不知

参加者：Y尾、H川、N川、M川 以上4名

天候：3日間とも晴れ時々曇り

費用：親不知～北又小屋タクシー¥14,000 (内1,000円/人×4人計4,000円補助金利用)

高速¥15,730 走行距離往復約860km

朝日小屋 ¥13,000/人 (1泊夕食)、テント¥2,000/人

榎海山荘(無人) ¥2,000/人 テント¥1,000/人

昨年計画したもののコロナによる山小屋休業により、今年に延期。直前までいろいろネットで調べた結果、下山予定の親不知の無料駐車場に車を置き、朝日町のタクシーを利用して北又に入れば一人1000円の補助金も利用でき、下山してすぐ帰り支度ができることが判明。

梅雨明けと天気予報に一喜一憂の中、木津を出発し親不知に深夜到着、早朝予約したタクシーで北又小屋に向かう。北又で水の補給とトイレを済ませて出発。風と眺望のない樹林の中の急登は朝からこたえる。十合目のコツブリ山で昼食休憩後は眺望もひらけ、木道を交えた緩やかな登りながら日差しが強い。お花畑は今が見ごろで残雪も心地よく、予定より早く朝日平の朝日小屋に到着。

4連休で人も多く、テント場は夕方にはかなりの数だ。ブロッケン現象、夕焼け、満月と見どころ満載。



朝日岳山頂からの白馬岳・剣岳方面



朝日岳山頂からの戸隠・高妻山方面

2日目は朝日岳で快晴のもと360°の展望を楽しみ、吹上のコルに下ると蓮華温泉への道と分かれ、いよいよ榎海新道に入る。途端に登山者の数が少なくなる。黒岩平までは随所にあるお花畑は国指定特別天然記念物に指定されておりその中を木道が続いている。眺望もあり風景や花の写真を撮りながら飽きることがない。今日も天気がよく日差しが強いが風は心地よい。黒岩平の水場で昼食休憩を済ませるといよいよお花畑区間から樹林の中、黒岩山からはいくつものアップダウンでピークを越え、最後の急登を喘ぎながら登り犬ヶ岳を越えると榎海山荘に到着、無人小屋ながら今日はテント泊も含めてかなりの人数ながら、毛布も利用できゆったり寝ることができた。

3日目は早朝に出発、今日のコースは樹林の細尾根を忠実にたどる。標高も下がってきているのでアップダ



朝日岳山頂（左からH川・M川・N川・Y尾）



アヤマメ平の木道に行く



ピンクのチングルマ（タテヤマチングルマ）

ウンを繰り返す尾根道は暑さがきつい。今日一番の登りで白鳥山（白鳥小屋）に着くと、ここからはほとんど下りで大きな登りはない。眺望の無い尾根道は、所々アップダウンはあるもののどんどん高度を下げ最後、国道を走る車の音が聞こえて、ほどなく登山口にたどりついた。交通量が多く注意して国道を横切り駐車場に到着、あとは浜辺まで標高差 80mを下り日本海にタッチして縦走を終了した。

予定より 2 時間ほど早く下山し、のんびり身支度を終え、朝日 IC 近くの温浴施設で入浴後、2 2 時頃木津に帰り着いた。

今回は天候にも恵まれ、長いコースを完走することができ大変満足している。途中、数カ所の水場は、夏場に枯れる箇所もあるので注意が必要、アップダウンも続き健脚コースというのもうなずける。親不知から朝日岳に向かう人もいるが、こちらはさらに難易度アップ、かなりの覚悟が必要と感じた。（M川記）